

消防本部

消防職員の配置状況

※ 職員の階級別配置を表にしたものです。

(令和2年3月31日現在)

区分	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防長		1							1
次長			1						1
署長			1						1
総務課				1	3	2			6
消防課				3	5	5	1		14
予防課				2	3	1			6
救急課				2					2
消防署				3	19	14	14	6	56
西分署				1	7	3		2	13
東分署				1	6	3	1	2	13
危機管理課出向					1				1
計		1	2	13	44	28	16	10	114

市勢に対する消防力

※ 各1単位当たりを表にしたものです。

(令和2年3月31日現在)

区分	署所1ヶ所当り	署員1人当り	ポンプ車1台当り	救急車1台当り
面積 (km ²)	70	2	42	53
人口 (人)	37,098	976	22,259	27,824
世帯数 (世帯)	15,514	408	9,309	11,636

※ 小数点以下四捨五入

令和元年度消防職員研修一覧表

(令和2年3月31日現在)

研修内容	日数	階 級						計
		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	
初任教育	6ヶ月						2	2
専科教育								
警防科	10日							0
救急科	38日						2	2
救助科	22日					2		2
危険物科	5日							0
火災調査科	10日			1				1
予防査察科	10日				1			1
特殊災害科	10日				1			1
幹部教育								
初級幹部科	10日				1			1
中級幹部科	7日							0
上級幹部科	3日							0
災害現場指揮科	3日		1					1
通信指令科	5日				1			1
救急救命士追加講習 (ビデオ喉頭鏡)	2日							0
救急救命士追加講習 (処置拡大二行為)	5日			1	2		1	4
救急救命士養成所	7ヶ月				1			1
指導救命士養成研修	12日							0
山岳救助器具取扱研修	3日					1		1
惨事ストレス研修	2日				1			1
消防大学校神戸市								
警防科	52日			1				1
幹部科	52日		1					1
機械課程	4日				1			1
救急救命東京研修所	6ヶ月				1			1
計		0	2	3	10	3	5	23

消防職員資格取得状況

(令和2年3月31日現在)

救急救命士	47
第2級陸上特殊無線技士	114
小型移動式クレーン	85
玉掛け	81
小型船舶等操縦免許	41

防火対象物の実態 (令和2年3月31日現在)

用途別		区分	総数 (棟別)	10階 以上	地階	査察件数
1項	イ	劇場・映画館・観覧場	3		2	
	ロ	公会堂・集会堂	64		3	1
2項	ロ	遊技場・ダンスホール	3			2
	ニ	カラオケボックス等	2			
3項	ロ	飲食店	104		1	25
4項		百貨店・マーケット・その他の物 品販売業を営む店舗・展示場	182		1	7
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	59	1		2
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	706	78	29	19
6項	イ	病院・診療所・助産所	55		1	7
	ロ	老人福祉施設・救護施設等(主と して入所)	23		1	19
	ハ	老人福祉施設・救護施設等(主と して通所)	66			9
	ニ	幼稚園・養護学校等	33		1	1
7項		小・中・高・大・各種学校	175		2	5
8項		図書館・美術館等	14		1	
10項		停車場・船舶の発着場	12		1	
11項		神社・寺院・教会	99		3	
12項	イ	工場・作業場	453		8	27
13項	イ	車庫・駐車場	69		20	
14項		倉庫	204		1	1
15項		前各号に該当しない事業所	504		37	7
16項	イ	特定複合用途対象物	226	4	22	42
	ロ	非特定複合用途対象物	71	1	4	3
17項	ロ	文化財	15			6
合 計			3142	84	138	183

※防火対象物

山林又は舟車、船きよ若しくはふ頭に繫留された船舶、建築物その他の工作物若しくはこれらに属する物をいう。その用途は、消防法施行令別表第1表で区分されている。

※特定複合用途対象物

複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの。

※非特定複合用途対象物

上記に掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物。

危険物製造所等類別許可施設及び立入検査況

消防法第11条の許可施設を類別に表しました。

また、下段は同法第16条の5に基づく立入検査の状況です。(令和2年3月31日現在)

種 別	区 別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売 所	第 二 種 販 売 所	移 送	一 般
	合 計	320	10	76	45	9	56		19	24	37				44
種 別	第1類														
	第2類	1													1
	第3類														
	第4類	308	8	68	45	9	56		19	24	37				42
	第5類	3		2											1
	第6類	1		1											
	混 在	7	2	5											
数 量 別	5倍以下	102		27	8	6	16		19	1	6				19
	5倍を超え 10倍以下	74	4	22	8	2	19			15					4
	10倍を超え 50倍以下	89	1	11	20	1	20			8	11				17
	50倍を超え 100倍以下	20	3	3	7						4				3
	100倍を超え 150倍以下	8	1	4	1						1				1
	150倍を超え 200倍以下	6	1	2	1						2				
	200倍を超え 1000倍以下	21		7			1				13				
立 入 検 査		128	3	25	1	5	31		19	3	30				11

※ 製造所 危険物または危険物以外のものから危険物を製造する目的で1日に指定数量以上を取扱う場所。

※ 貯蔵所 指定数量以上の危険物を貯蔵、または取扱う場所。

※ 取扱所 危険物を製造する以外の目的で1日に指定数量以上を取扱う場所。

防火講習会及び消防訓練実施状況

(令和2年3月31日現在)

講習区分		講習回数	参加者数
講習会	甲種防火管理者取得講習（再講習含む）	2	44
	乙種防火管理者取得講習	1	5
	消防訓練指導員講習会	2	51
	防火安全協会 防火安全管理研修会	0	0
	危険物取扱者養成講習	2	30
	幼年・少年・少女消防クラブ育成 夏季防火教室	0	0
	普通救命講習（H31.1～R1.12）	23	268
	応急手当普及員講習（H31.1～R1.12）	0	0
	応急手当普及員再講習（H31.1～R1.12）	4	48
現地訓練指導	初期消火・通報・避難訓練 事業所 町内会 共同住宅等 学校・幼稚園	51 18 18 35	
	応急手当講習（救急処置等）（H31.1～R1.12） 各種団体 事業所 自治会 学校・PTA 体験型救命講習	16 44 15 38 1	288 884 1326 1749 66

火災月別損害状況及び焼損面積

		火災件数						り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	焼損面積		
		計	建物	車両	林野	船舶	航空機					その他	建 物 (㎡)	林 野 (a)
1月	本署													
	西分署	1	1									25		
	東分署	1		1										
2月	本署	2	2					1	3					
	西分署	2			1						1		3	
	東分署													
3月	本署	1	1					1	4		2	2		
	西分署	1												
	東分署	1	1					1	1					
4月	本署	1												
	西分署													
	東分署	2	1									18.7		
5月	本署	3	1		1			1	1		1		12	
	西分署													
	東分署	2	1		1							4	3.5	
6月	本署	1		1										
	西分署	2	1					1	2		1	0.2		
	東分署	1	1					1	1					
7月	本署	1	1									400		
	西分署	1												
	東分署	1	1											
8月	本署	3	2					2	4		2	0.7		
	西分署	2	1	1				1	2			1.8		
	東分署													
9月	本署	4	3	1				2	6		1	199		
	西分署													
	東分署													
10月	本署	2	1					1	3			2		
	西分署													
	東分署													
11月	本署	2	1											
	西分署													
	東分署													
12月	本署													
	西分署													
	東分署	1	1									66		
計	総計	38	21	4	3			10	12	27	0	8	719.4	18.5
	本署	20	12	2	1			5	8	21	0	6	603.7	12
	西分署	9	3	1	1			4	2	4	0	2	27	3
	東分署	9	6	1	1			1	2	2	0	0	88.7	3.5

※ 令和元年12月31日の集計

※ り災程度は世帯にかかるものであり、共同住宅の共用部分、事務所等の火災では計上されません。

損害額

	合計	建物	車両	林野	船舶	航空機	その他
損害額 (千円)	79,120	78,158	114	0	0	0	848

※ 令和元年12月31日の集計

火災種別及び地区別発生件数

令和元年12月31日現在

地区	計	建物火災	車両火災	林野火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
三田	6	5					1
三輪	5	2	1				2
広野	5		1	2			2
小野	5	4		1			
高平	4	2	1				1
藍	5	1	1				3
本庄	1	1					
フラワータウン地区	2	2					
ウッディータウン地区	3	2					1
カルチャータウン地区							
つつじが丘	1	1					
テクノパーク	1	1					
計	38	21	4	3	0	0	10

現場到着所要時間別火災出動件数

・火災件数 38 件（緊急出動した件数 28 件）

※全体の平均現場到着時間は 7分52秒 です。（事後聞知を除く） 令和元年12月31日現在

事故種別	出動から現着まで(分)		3分以上				20分以上	小計	事後聞知	合計	平均(分)
			3分未満	5分未満	10分未満	20分未満					
火災種別	建物	本署	3	4	2			9	3	12	4分00秒
		西分署			1			1	2	3	7分00秒
		東分署	3	1		1		5	1	6	4分36秒
	車両	本署	1		1			2		2	4分30秒
		西分署						0	1	1	
		東分署				1		1		1	15分00秒
	林野	本署			1			1		1	8分00秒
		西分署				1		1		1	11分00秒
		東分署				1		1		1	12分00秒
	その他	本署	1	1	2			4	1	5	5分30秒
		西分署			1	1		2	2	4	10分00秒
		東分署		1				1		1	5分00秒
計 (件)			8	7	8	5	0	28	10	38	

救急隊員の行った応急処置（前年比）

令和元年12月31日現在

	平成30年	令和元年	増減
応急処置人員	3,944	3,935	△9
応急処置数	15,893	15,395	△498
止血	186	120	△66
固定	254	174	△80
人工呼吸	17	17	0
胸骨圧迫	2	2	0
心肺蘇生	62	68	6
酸素吸入	763	709	△54
気道確保	109	104	△5
経鼻エアウェイ	4	0	△4
喉頭鏡・鉗子等	2	2	0
コンピチューブ等	6	9	3
気管挿管	2	3	1
保温	3,422	3,474	52
被覆	300	248	△52
在宅療法継続	17	44	27
ショックパンツ血圧維持	0	0	0
除細動	6	9	3
静脈路確保	21	39	18
薬剤投与	6	15	9
その他の応急処置	218	297	79
血圧測定	3,745	3,758	13
心音呼吸音聴取	969	646	△323
血中酸素飽和度	3,862	3,854	△8
心電図測定	1,934	1,817	△117

救急事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員調

令和元年12月31日現在

年齢区分	傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症											1	1
	軽症							1					1
	その他												
計							1				1	2	
乳幼児	死亡												
	重症							1					1
	中等症				2			11			46	4	63
	軽症				9			43			123		175
	その他												
計				11			55			169	4	239	
少年	死亡												
	重症										1		1
	中等症				4		6	6			24	5	45
	軽症				17	1	28	14			64		124
	その他												
計				21	1	34	20			89	5	170	
成人	死亡									1	1		2
	重症				6	1		2		3	24	18	54
	中等症			1	36	22	4	39		8	314	97	521
	軽症	1			128	20	10	75	5	2	463	11	715
	その他									1			1
計	1		1	170	43	14	116	5	15	802	126	1293	
老人	死亡				2			2			23		27
	重症				3	1		21			104	46	175
	中等症	4			13	1	1	188		2	794	236	1239
	軽症	1			45	2	2	205			517	20	792
	その他							1					1
計	5			63	4	3	417		2	1438	302	2234	
合計	死亡				2			2		1	24		29
	重症				9	2		24		3	129	64	231
	中等症	4		1	55	23	11	244		10	1178	343	1869
	軽症	2			199	23	40	338	5	2	1167	31	1807
	その他							1		1			2
計	6		1	265	48	51	609	5	17	2498	438	3938	

年齢区分別人口別救急車利用割合及び重症度割合

令和元年12月末現在

年齢区分	人口	搬送人員	利用割合	重症割合	中等症割合	軽症割合
新生児/乳幼児	6,262	241	3.8%	0.4%	26.6%	73.0%
少年	11,373	170	1.5%	0.6%	26.5%	72.9%
成人	66,710	1,293	1.9%	4.2%	40.3%	55.3%
老人	27,568	2,234	8.1%	7.8%	55.5%	35.5%
全年齢	111,913	3,938	3.5%	5.9%	47.5%	45.9%

：地域創生部市民協働室市民課より資料提供 令和元年12月末現在)

※ 新生児 生後28日未満 乳幼児 生後28日以上満7歳未満
 少年 満7歳以上満18歳未満 成人 満18歳以上満65歳未満
 老人 満65歳以上

救急出動現場到着所要時間別出動件数

令和元年12月31日現在

種別	時間					合計	現場到着最短時間(分)	現場到着最長時間(分)	現場到着平均時間(分)
	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上				
急病	7	29	1,881	722	11	2,650	1	25	9
交通事故	2	5	174	77	4	262	1	30	9
一般負傷	1	5	477	169	2	654	1	27	9
その他	6	115	410	105	2	638	1	30	7
合計	16	154	2,942	1,073	19	4,204			

収容所要時間別搬送人員件数

令和元年12月31日現在

種別	時間		10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	合計	収容所要最短時間(分)	収容所要最長時間(分)	収容所要平均時間(分)
			人数	人数	人数	人数	人数	人数				
急病	人数			29	566	1,674	221	8	2,498	11	205	39
	うち管外				51	403	171	3	628			
交通事故	人数			1	33	175	53	3	265	17	124	46
	うち管外				2	32	43	3	80			
一般負傷	人数			5	155	372	76	1	609	16	124	41
	うち管外				12	108	70	1	191			
その他	人数			17	169	284	94	2	566	15	235	42
	うち管外				32	180	88	1	301			
合計	人数		0	52	923	2,505	444	14	3,938			
	うち管外		0	0	97	723	372	8	1,200			

月別救急出動状況

令和元年12月31日現在

(単位 件)

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
計	出動件数	21	0	1	262	48	53	654	7	24	2,650	439	0	0	45	4,204
	搬送人員	6	0	1	265	48	51	609	5	17	2,498	438	0	0	0	3,938
1月	出動件数	2	0	1	17	2	2	52	2	1	279	36	0	0	1	395
	搬送人員	0	0	1	16	2	2	50	1	1	262	36	0	0	0	371
2月	出動件数	2	0	0	12	1	3	41	1	1	217	30	0	0	3	311
	搬送人員	1	0	0	11	1	3	35	1	1	204	30	0	0	0	287
3月	出動件数	2	0	0	18	7	4	61	0	1	210	28	0	0	3	334
	搬送人員	2	0	0	20	7	3	56	0	0	203	28	0	0	0	319
4月	出動件数	1	0	0	25	1	8	53	2	2	206	45	0	0	3	346
	搬送人員	0	0	0	28	1	8	49	1	2	187	45	0	0	0	321
5月	出動件数	2	0	0	24	6	3	44	0	3	223	39	0	0	4	348
	搬送人員	1	0	0	23	6	3	43	0	2	211	39	0	0	0	328
6月	出動件数	3	0	0	22	4	1	53	0	3	190	37	0	0	3	316
	搬送人員	0	0	0	20	4	1	47	0	1	174	37	0	0	0	284
7月	出動件数	2	0	0	16	2	3	49	0	0	232	32	0	0	2	338
	搬送人員	0	0	0	14	2	2	47	0	0	226	32	0	0	0	323
8月	出動件数	2	0	0	24	8	8	70	0	3	212	46	0	0	6	379
	搬送人員	1	0	0	27	8	8	66	0	3	200	46	0	0	0	359
9月	出動件数	3	0	0	27	5	8	45	1	4	200	30	0	0	3	326
	搬送人員	1	0	0	27	5	8	43	0	3	183	30	0	0	0	300
10月	出動件数	0	0	0	21	5	6	68	1	3	222	32	0	0	3	361
	搬送人員	0	0	0	21	5	6	65	2	2	213	32	0	0	0	346
11月	出動件数	1	0	0	33	2	5	54	0	1	211	33	0	0	7	347
	搬送人員	0	0	0	33	2	5	50	0	1	204	33	0	0	0	328
12月	出動件数	1	0	0	23	5	2	64	0	2	248	51	0	0	7	403
	搬送人員	0	0	0	25	5	2	58	0	1	231	50	0	0	0	372

月別救助出動状況

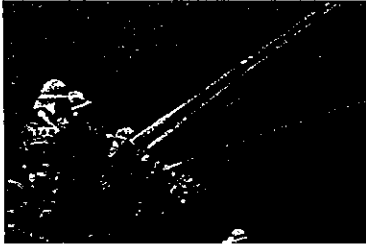
令和元年12月31日現在

区分 月別	出動件数(件)	活動件数(件)	救助人員(人)	事故種別(件)								覚知別(件)					
				火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	119番	加入電話	駆け込み	高速専用	その他
合計	118	31	31	15	16			1	47	2		37	81	34	1	1	1
1月	5	2	3	2					1	1		1	4	1			
2月	11	3	3	1					6			4	8	2	1		
3月	7	3	3	1	2				1			3	6	1			
4月	10	3	2	1	3				6				7	3			
5月	13	3	2	2	2				6			3	8	5			
6月	7	5	5						5			2	4	2			1
7月	9	1	1	2	1				5			1	8	1			
8月	8	1	1	1	1				1			5	5	3			
9月	8	2	2	3	1				3			1	6	2			
10月	8	3	3		2				3			3	2	6			
11月	15	3	5	1	3				5			6	9	6			
12月	17	2	1	1	1			1	5	1		8	14	2		1	

6 消防団の活動

・消防団の組織

三田市の消防団は、明治時代にさかのぼり、消防組としてその組頭は町村長が兼任しており、昭和14年4月に消防組は警防団に改称され、その後、周辺町村との合併等による市勢の変遷を経て、現在の7分団704名の消防体制を確立しました。



[消防団の組織]

	分団数	定数	実数
三田市消防団	7分団	704人	704人

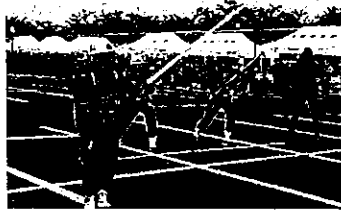
・消防団の業務・活動

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るため活躍する崇高なボランティア精神を持った団体です。火災発生時にいち早く現場へ駆けつけ消火活動を行うばかりでなく、地震や風水害など大規模災害や林野火災時には多数の団員を動員し、災害防ぎょ活動を行うなど地域における消防防災の中核的存在として重要な役割を果たしています。

また、平常時においても、訓練のほか、応急手当の普及指導、警戒、広報活動などに従事し、消防・防災力の向上や地域コミュニティの活性化に貢献し、市民に密着した安全で安心して暮らせるまちづくりのため、団員が一致団結し活動を続けています。

[年間の主な活動・行事]

月	
4月	消防大会
6月	危険物安全週間訓練
7月	夏期訓練
9月	ポンプ操法大会
10月	消防団ポンプ一斉点検
11月	秋季火災予防運動(訓練・広報)
12月	年末特別警戒
1月	文化財防火訓練
2月	新入団員・幹部団員研修
3月	春季火災予防運動(訓練・広報)



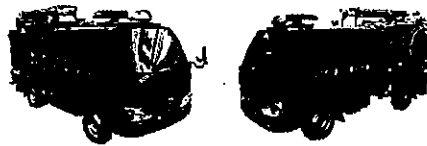
・消防団の施設・装備

平成29年12月から株式会社モリタの協力により、機能別班(企業連携消防団)が発足し、企業内に小型動力ポンプ付積載車を配備しています。

また、平成30年3月には第4分団(志手原)消防器具庫が新設されました。

[消防ポンプ自動車等の配備状況]

小型動力ポンプ付積載車	13台
小型動力ポンプ	13台



第7章 消防団

1 消防団の沿革

S 14. 4	三田警察署管内に警防団設置	S 63. 10	第1分団（相生町）小型動力ポンプ付積載車更新
S 22. 4	消防団令公布により警防団を消防団に改組	H 元. 11	第2分団（三輪）小型動力ポンプ付積載車更新
S 31. 9	有馬郡三田町、三輪町、広野村、小野村、高平村の5ヶ町村の合併により、三田町消防団が発足した	H 2. 9	第2分団（大原）消防器具庫新設
S 32. 5	支団制を制定して、5支団をもって市街地を中心に全地域の防災体制を強化した	H 2. 10	第3分団（広野）第6分団（下相野）小型動力ポンプ付積載車更新
S 32. 7	有馬郡藍村、本庄村との合併により、6支団に強化された	H 3. 9	第3分団（北浦）第4分団（乙原）第5分団（上槻瀬）小型動力ポンプ付積載車更新
S 33. 7	市制施行に伴い、三田市消防団と改めた	H 3. 12	第3分団（広野）消防器具庫新設
S 35. 7	三田市消防制度改革審議議会設置	H 4. 9	第6分団（藍本）第7分団（本庄）小型動力ポンプ付積載車更新
S 41. 5	三田市消防本部を設置	H 4. 12	第6分団（下相野）消防器具庫新設及び無線サイレン吹鳴装置器具庫へ移設
S 42. 12	第3分団（上井沢）消防器具庫新設	H 5. 8	第4分団（志手原）小型動力ポンプ付積載車更新
S 43. 3	第5分団（鈴鹿）消防ポンプ車配備	H 5. 9	第1分団から第4分団までの各車両に受令機を設置
S 44. 11	第7分団（大畑）消防ポンプ車配備	H 6. 3	第3分団（北浦）第5分団（鈴鹿）第6分団（藍本）第7分団（本庄）各車両に小型ポンプ積載
S 45. 11	第1分団（京口）消防ポンプ車配備	H 6. 3	三田市消防制度改革審議議会条例廃止
S 46. 12	第2分団（縄手）消防ポンプ車配備	H 6. 10	第5分団から第7分団までの各車両に受令機を設置
S 47. 10	第6分団（下相野）消防ポンプ車配備	H 6. 10	第3分団（広野）第5分団（上槻瀬）第6分団（下相野）第7分団（大畑）各車両に小型ポンプ（15PS）積載
S 47. 11	第6分団（下相野）消防器具庫新設	H 7. 7	消防団旗並びにはしご演技まとい購入
S 49. 10	第3分団（北浦）、第4分団（乙原）第5分団（上槻瀬）に小型動力ポンプ付積載車配備	H 7. 10	第1分団 第2分団 第4分団（乙原）各車両に小型ポンプ（15PS）積載
S 50. 3	第3分団（北浦）消防器具庫新設	H 7. 10	消防団本部専用車購入
S 50. 10	第6分団（藍本）、第7分団（本庄）に小型動力ポンプ付積載車配備	H 8. 4	第1分団 第2分団各器具庫に無線サイレン吹鳴装置設置
S 51. 8	第4分団（志手原）小型動力ポンプ付積載車配備	H 8. 8	はしご演技まとい購入
S 55. 3	第5分団（上槻瀬）消防器具庫新設	H 9. 12	市役所南分館に無線サイレン吹鳴装置を新設
S 55. 3	藍本、北浦地区に無線サイレン吹鳴装置を設置	H 9. 12	第6分団（藍本）無線サイレン吹鳴装置を更新
S 56. 3	第7分団（本庄）消防器具庫新設	H 10. 3	消防団器具庫12ヶ所に防災資器材18品目を配備
S 56. 3	大畑、乙原、高平に無線サイレン吹鳴装置を設置	H 12. 1	第5分団（上槻瀬）ホース干し場新設、無線サイレン吹鳴装置更新
S 56. 11	相野、本庄、広野、志手原地区に無線サイレン吹鳴装置を設置	H 12. 12	第3分団（北浦）ホース干し場新設無線サイレン吹鳴装置更新
S 56. 12	第4分団（志手原）消防器具庫新設	H 13. 10	第7分団（東本庄）ホース干し場新設
S 57. 9	消防活動の円滑を図るため、全分団に携帯用無線機を配備	H 13. 11	第5分団（十倉）ホース干し場新設無線サイレン吹鳴装置更新
S 58. 3	第1分団（京口）消防器具庫新設	H 14. 11	第7分団（大畑）ホース干し場新設無線サイレン吹鳴装置更新
S 58. 11	第7分団（大畑）消防器具庫新設		
S 59. 3	第6分団（藍本）消防器具庫新設		
S 59. 12	第4分団（乙原）消防器具庫新設		
S 61. 1	第1分団（京口）、第2分団（縄手）に小型動力ポンプ付積載車配備		
S 61. 2	第5分団（鈴鹿）消防器具庫新設		
S 61. 3	鈴鹿地区に無線サイレン吹鳴装置を設置		
S 61. 12	第7分団（大畑）小型動力ポンプ付積載車更新		
S 62. 11	第5分団（鈴鹿）小型動力ポンプ付積載車更新		

- H 15. 3 第3分団（広野）ホース干し場新設
無線サイレン吹鳴装置更新
- H 16. 11 第5分団（鈴鹿）小型動力ポンプ付
積載車更新
第7分団（大畑）小型動力ポンプ付
積載車更新
- H 17. 3 第7分団（本庄）消防器具庫新設
及びホース干し場新設、無線サイレ
ン吹鳴装置更新
- H 18. 3 第4分団（乙原）ホース干し場新設
無線サイレン吹鳴装置更新
- H 19. 3 第6分団（藍本）消防器具庫新設
及びホース干し場新設、無線サイレ
ン吹鳴装置更新
- H 20. 3 第1分団小型動力ポンプ付積載車
更新
- H 21. 1 第2分団小型動力ポンプ付積載車
更新
- H 21. 2 第6分団（下相野）ホース干し場新設
無線サイレン吹鳴装置更新
- H 21. 11 第3分団（広野）第6分団（下相野）
小型動力ポンプ付積載車更新
- H 21. 12 第1分団ホース干し場新設
- H 22. 2 三田市消防団が（公財）日本消防協会
から特別表彰まといを受章
- H 22. 2 （社）日本損害保険協会から小型
動力ポンプ付積載車を寄贈される
- H 22. 11 第4分団（乙原）第5分団（上槻瀬）
小型動力ポンプ付積載車更新
- H 23. 12 第3分団（北浦）小型動力ポンプ付
積載車更新
- H 24. 1 女性消防団員が消防団本部付で発足
- H 24. 8 消防団安全対策設備費補助事業により
各分団に防災資器材5品目を配備
- H 24. 10 第6分団（藍本）第7分団（本庄）
小型動力ポンプ付積載車更新
- H 25. 10 第4分団（志手原）小型動力ポンプ付
積載車更新
- H 26. 3 消防庁無償貸付により防災資器材等
9品目を配備
- H 28. 3 第2分団（三輪）消防器具庫新設
- H 28. 9 消防団に災害用タブレット配備（13台）
- H 28. 12 県内初企業連携消防団発足
（株式会社モリタ）
- H 30. 3 第4分団（志手原）消防器具庫新設
- H 30. 5 可搬型灯光器配備（12台）

分団別団員調べ

(令和2年3月31日現在)

階 級別 区分		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
		定数	1	3	7	14	12	68	599
実 数	本部	1	3				2	13	19
	第1分団			1	2	1	6	65	75
	第2分団			1	2	1	6	68	78
	第3分団			1	2	2	15	115	135
	第4分団			1	2	2	7	79	91
	第5分団			1	2	2	12	98	115
	第6分団			1	2	2	11	78	94
	第7分団			1	2	2	9	83	97
合計		1	3	7	14	12	68	599	704

消防団員出動状況

(平成31年)

種 別 区分		火災	水防	警戒	訓練	その他	計
回数(回)		13	9	15	54	43	134
人数(人)		152	74	296	1940	827	3289